

◆ 弓道 ◆

弓道 演武

古式射礼

射手	高辻 照生 北川 茂 山下 博美	小林 師子 及川 悦子	介添	吉山 美和 酒井 千絵
			矢取り	渡土 定次 大原 吾朗 土井 吉子

大阪府弓道連盟役員

会 長	中野 英夫			
副 会 長	小松 英次	野中 秀治	吉山 伸二	
	高辻 照生	砂口 勝紀		
理 事 長	高辻 照生 (兼任)			
事 務 局	高辻 照生 (兼任)			
常任理事	山田 直美	小松 正美	横沼 由美子	
	及川 悦子	小西 充子	山下 博美	
	福永 芳則	関口 公男	吉山 美和	
	三木 信高	杉本 巖生	中村 真由美	
	篠田 淳美	岡田 茂充	田中 淳治	
	佐藤 健治			
監 事	種坂 隆志	菅野 浩平		
顧 問	大西 フミ子			
参 与	出田 一男	坂根 貞幸	森 幸夫	
	古閑 未弘	辻川 正治	高見 勝彦	
	梶川 和男	陸田 忠雄	徳山 貴信	
	渡辺 展行			
相 談 役	高井 道弘			

大阪府弓道連盟

弓道は、他の競技と多少異なり、相手は動かない的であり、老若男女それぞれ自分の体力に応じた強さの弓を使うことによって、晴雨にかかわらず練習時間も自由に調整することが可能な誰にでもできる武道・スポーツです。

正しい姿勢で正しい射、背骨を伸ばし胸郭を広げて左右の均衡を図り、気力を丹田に収め、満を持して離さぬ精神の集中、そこから生まれる正確な中。「自分」と「弓」、そして「的」の三者が一体となって冷静に正確に果敢に射放つ。尽くしてもなおかつ的中しない、当たらなければそれはすべて自分に起因する。その原因を求めて自己反省する。それがまた精神面の修練に大きくプラスするところであり、こよなく弓道が愛される所以でもあります。

さて、射礼は昔から祭祀・式典その他晴れの場所において、その時代の式服を着用し、起居進退を礼法に従って射を行うものです。大阪府弓道連盟では毎年、一月に百舌鳥八幡宮、住吉大社、二月に高津宮、四月に石切神社で奉射を行っております。



事
務
局

大阪府弓道連盟事務局
〒565-0826 吹田市千里万博公園 6-5
万博記念公園弓道場内
TEL 06-6318-5112
osakafuren_jimukyoku@polka.ocn.ne.jp

◆ 銃剣道連盟 ◆

銃剣道 演武

1. 形 [打方] [仕方]
- [銃対銃] 教士 8 段 藤村 美樹 教士 7 段 桃田 勲
2. 基本動作
- [指揮者] 教士 7 段 高嶋 将男 以下 剣和会 天王寺道場 小学生
3. 応用動作・第三稽古・試合稽古
- [指揮者] 教士 8 段 小松 彦司 以下 清風 中学生・高校生

大阪府銃剣道連盟役員

名誉会長	荒木 秋男	伊藤 武人			
会 長	寺地 都喜雄				
副 会 長	泉川 茂賀	佐々木正吉			
理 事 長	藤村 美樹				
副理事長	小松 彦司	高嶋 将男			
事務局長	松下 尚一				
事務局次長	島田 雅隆				
常任理事	寺地 都喜雄	泉川 茂賀	佐々木 正吉	藤村 美樹	
	小松 彦司	島田 雅隆	高嶋 将男	松下 尚一	
理 事	中村 徹	上田 哲也	新谷 嘉成	宮田 秀哉	
	福田 孝	平井 康文	松下 祐季	佐々木 翔平	
	淡路 修平				
監 事	伊藤 利雄	桃田 勲			
名誉顧問	嵐 豊三				
相談役	川西 隆久				
参 与	福田 孝				

事務局

大阪府銃剣道連盟事務局
〒544-0004 大阪市生野区巽北 3 丁目 15-26 巽第 6 ハイツ 121
松下 尚一 方
TEL/FAX 06-6758-4659

● 銃剣道の本旨

銃剣道は、わが国の伝統的な武術である槍術の「突き技」を基調として、明治初期に創生され発展した武道である。

木銃を用いて相手の喉・胴等への「突き技」で競い合う競技であり、攻撃的で果敢なところに特色がある。

● 短剣道の本旨

短剣道はわが国の伝統的な武術である剣術の「片手による小太刀の技」を基調として、明治中期に創成され発展した武道である。

短竹刀を片手で操作し、「突き技」「打ち技」「人り身制体技」により、比較的近い間合で競い合う競技であり、怯まず攻撃的なところが特色である。

● 銃剣道・短剣道修業の指標

銃・短剣道の修業は、たゆまない努力によって心身を鍛錬陶冶し、規律を守り、礼節を尊び、信義を重んずる等、社会人として必要な道徳性を高め、もって、正しく、明るく、強く、逞しい人間形成を目指して、精進するものである。

・大阪府銃剣道連盟の歴史

- (1) 昭和 32 年 3 月 同好の志の努力で設立。(社) 全日本銃剣道連盟に加盟。
昭和 35 年 4 月 大阪府体育連盟〔(財) 大阪体育協会〕に加盟。
- (2) 昭和 35 年 4 月 第 9 回全日本銃剣道選手権大会を大阪市中央体育館で主管開催。
- (3) 昭和 55 年、第 35 年国民体育大会(栃木大会)より、国体実施種目となり、「成年男子・少年男子及び総合で」国体に参加。
平成 9 年 10 月、第 52 回国民体育大会秋季大会(なみはや国体)銃剣道協議会(開催地：東大阪市)を担当開催。
- (4) 平成 18 年(第 61 回)兵庫国体 成年男子：第 3 位(総合第 5 位)入賞
平成 19 年(第 62 回)秋田国体 成年男子：第 3 位、少年男子：第 8 位(総合第 4 位)入賞
平成 20 年(第 63 回)大分国体 少年男子：第 7 位入賞



◆ 空 手 道 ◆

空手道 演武

1. 少年男子形演武
スーパーリンペイ 松下 秀助 (第52回大阪府大会 成年男子形第3位)
2. 少年女子形演武
雲手 森本 莉菜 (第73回 福井国体 少年女子形 第1位)
3. 少年男子組手試合
内野 翔太 (第17回アジアジュニア空手道大会 ジュニア-61kg第5位)
中村虎太郎 (第3回ユースオリンピック 日本代表)
4. 少年女子組手試合
大西 凧 (第17回アジアジュニア空手道大会 ジュニア+54kg第5位)
村上 瑠衣 (大阪府空手道連盟 組手強化選手)
5. 師範演武
パープーレン 長友 憲一郎 (公財 全日本空手道連盟 公認7段 教士)

大阪府空手道連盟役員

会 長	西川 吉重				
副 会 長	宮野 次夫	南宮 正直	山岡 碩太郎		
理 事 長	高橋 和夫				
副理事長	坂本 恵	長田 義行	大西 克彦	並川 和憲	
事務局長	桑本 知幸				
事務局次長	山口 享佑	高橋 照見	白石 浩一		
事務局員	石田 聡志	高橋 拓也	突出 瞬	出嶋 智年	片岡 功
会 計	高橋 照見				
会計監査	操野 勝	井上 菊廣			
顧 問	村上 和定				
相談役	新居 正	田中 實	雪野 博満	古川 一彦	奥村 廣孝
	荒本 和夫				
参 与	矢頭 正人	佐竹 義人	藤村正二郎		

連事
盟務
本局

大阪府空手道連盟事務局

〒631-0011 奈良県奈良市押熊町 2185-6

TEL 0742-47-9754

E-mail: ciao-kuwamoto@ab.auone-net.jp

第73回国民体育大会について

日 時 平成30年10月6日～10月8日
場 所 敦賀市総合運動公園体育館 (福井県)

- 選 手 (少年男子) 形：小野 暉 組手：南 友之輔
(少年女子) 形：森本 莉菜 組手：久 七海
(成年男子) 形：堀庭 裕平
(成年女子) 組手：村上 志久摩 中野 大輝 久保 悠大
組手：尾立 佳菜子
- スタッフ (監 督) 藤田 典正 (総務) 岩藤 哲也
(コ ー チ) 今井 謙一 池田 清剛 木下 貴博 高山 雅彦
園山 昌枝
- 試合結果 総合成績 第3位 (1位 福井県 2位 香川県 3位 大阪府)
女子総合 第4位 (1位 福井県 2位 山梨県 3位 京都府)
(少年男子形) 小野 暉 2回戦敗退
(少年男子組手) 南 友之輔 5位
(少年女子形) 森本 莉菜 1位
(少年女子組手) 久 七海 2回戦敗退
(組手軽量級) 村上志久摩 5位
(組手中量級) 中野 大輝 2回戦敗退
(組手重量級) 久保 悠大 2回戦敗退
(成年女子組手) 尾立佳菜子 3回戦敗退
(成年男子形) 堀庭 裕平 5位
(団体組手) 大阪チーム 3位



◆ 少林寺拳法 ◆

少林寺拳法 演武

大阪府少林寺拳法連盟選抜拳士による演武

大阪府少林寺拳法連盟役員

会 長	井上 礼之 (ダイキン工業株式会社 取締役会長兼グローバルグループ代表執行役員)		
副 会 長	鴻池 一季 (株式会社鴻池組 名誉会長)		
相 談 役	永田 昌範 松井 邦彦 西尾 武 南 甲二		
理 事 長	浅妻 嘉光		
副理事長	佐藤 定義 大場 健七郎 西光 正博 大森 一浩		
事務局長	大場 健七郎 (武道必修化担当理事)		
理 事 会	< 常任理事 >	< 理事 >	
(事業部)	東 省三 (事業部長)	今井 偉夫 澤井 憲男 酒井 信人	
(企画部)	古谷 貴紀 (企画部長)	東瀧 充孝 掛川 和弘 山崎 武宏 岸本 忠	
(渉外部)	大津 好央 (渉外部長)	中野 幸一 青枝 増行	
(組織管理部)	斉喜 博美 (組織管理部長) (大阪府スポーツ少年団担当)	斉喜 昭彦 有澄 雄輔 森本 収	
(昇格考試部)	溝渕 秀樹 (昇格考試部長)	岡所 正 桑原 博之 久田 安孝	
(武専担当)	佐々木 正 伊瀬 道昭	高辻 吉治 西村やよひ (武道必修化担当)	
(事務局)	黒田 裕子 (事務局次長)	吉野 有紀 北島 孝教 (広報担当)	
		下川 博隆 佐古 員規 (IT担当)	後藤 典明 (学生担当)
		川添 浩史 神穂 隆志	
(財務会計部)	笠原 徹 (財務会計部長)	宮内 剛	
監 事	佐々木 正 西村 軍平		
顧 問	細川 正義 松下 邦義		

大阪府少林寺拳法連盟事務局
〒531-0071 大阪市北区中津2丁目8番
中津リバーサイドコーポA棟1103号
TEL 06-6567-9339 FAX 06-6567-9336
E-Mail: osakafuren@oobe.ocn.ne.jp
URL: http://www.shorinjikempo-furen.org/

SHORINJI KENPO (少林寺拳法) は、1947年、日本において創始者宗道臣 (開祖) が、「平和で豊かな社会を築くために、社会で役に立つ人間を育てたい」という志を持ち、創り出した人づくりのシステムであり、独自の固有の文化をもった世界で一つのものであります。これまでに少林寺拳法の活動を推進するため、一般社団法人SHORINJI KENPO UNITY、金剛禅総本山少林寺、一般財団法人少林寺拳法連盟、学校法人禅林学園、少林寺拳法世界連合の5つの団体が組織され、現在では世界40ヶ国に広がりを見せています。日本で生まれた少林寺拳法は、創始者の志を受け継ぎながら、社会に貢献できる団体として、広域的な地域交流の中で「生きる力」を養い、「感性」を磨くための環境づくりに取り組んで参ります。今回は、2018年少林寺拳法全国大会 in ぐんま (10月27日28日) に出場しました拳士の演武をご紹介します。

演武指導 神保隆志 運用法レフリー平井康道・藤岡英樹 解説 大場健七郎



大阪府少林寺拳法連盟では、少林寺拳法創始70周年を記念し、『少林寺拳法創始70周年記念フェスティバル IN OSAKA』を開催しました。



少林寺拳法
創始70周年記念フェスティバル in OSAKA

親と子の架け橋

～少林寺拳法の教育理念～

講師 宗道臣氏
少林寺拳法グループ総長

参加費 **無料**

日時: 2017年 **10月14日** (土)
13:00～16:00

場所: アプラたかいし 3階大ホール
高石市緑町1-1-1 高石市立「南」中学校 体育館

どなたでも参加できます。ぜひ親子そろってご参加ください!

主催: 大阪府少林寺拳法連盟
後援: 一般財団法人少林寺拳法連盟
高石市教育委員会

◆ 日本拳法 ◆

日本拳法演武

大阪府日本拳法連盟選抜拳士による演武



今後の活動方針

大阪府日本拳法連盟の現在における加盟団体数は、73 団体となっております。主な大会は、春季大阪府民体育大会（個人戦）、そして秋季大阪府民体育大会（団体戦）の開催をおこなっております。春季の個人戦では、全・日本拳法総合選手権大会の大阪府民予選会を兼ねた大会となっております。

そして、大阪府連盟の日本拳法界での役割は、(一財)日本拳法全国連盟傘下の中核団体として、府下全団体が日本拳法「八要の紋章」・「理念・指導精神」を胸に、日本拳法の斯道発展のため、地域コミュニティと共に、青少年の健全育成のための輪を広げ、活動をおこなっています。修法者は、更なる上を目指し精神面、身体面とも強を求めて鍛錬を重ねていくとともに、社会の繁栄と平和に貢献するべく自己研鑽に励んでおります。

本年度の大阪武道祭におきましても、総合徒手武道としての魅力である多彩な突き蹴り投げ技と、防具着装による実撃で行われる攻防を、堪能していただければ幸いです。



大阪府日本拳法連盟役員

会 長	山尾英一
副 会 長	三澤 登 山本 隆 造 中村安治 小泉賢一郎
理 事 長	中野文武
常任顧問	茂野直久
顧 問	小西 丕 中野 誠 辻見重行
相 談 役	五十嵐愛作 西田峯一

事務局

大阪府日本拳法連盟事務局
本部 〒530-0043 大阪市北区天満 1-21-2 (山尾方)
TEL (06) 6355-1333 FAX (06) 6355-1334
E-mail yamao@occn.zap.ne.jp
事務局 〒545-0041 大阪市阿倍野区共立通 1-11-3 (中野方)
TEL (06) 4398-5665 FAX (06) 6766-7060
E-mail kouyuhonbu@yahoo.co.jp

大阪府日本拳法連盟

日本拳法は、昭和7年宗家澤山宗海先生にて創始された、徒手（素手の）総合格闘技（拳の突く・打つ、足の蹴けりと、組み合った時に用いる、投げ技・関節技、投げ技の後の組み伏せた状態での、相手を制する）であります。特に総合格闘技にありがちな、身体に及ぼす傷害等危険を、最大限防止するために、創始以来、身体への安全性を最も考慮され開発された、防具着装（面・銅・股当・グローブ）を行い、人間本来の全身への攻撃を、実戦乱稽古にて可能とした日本拳法は、戦前・戦後を通じて、武道・徒手総合格闘技界での、防具着装のパイオニアであります。

現在は、成人（社会人・大学生）・高校生・中学生・小学生・幼児に至るまで、全国に道場・練習場があり、近年特に海外、欧米・ロシア等数十カ国に普及、活動の場が広がり、毎年開催、2018 日本拳法総合選手権大会へは、アメリカ・イタリア・フランス・メキシコなど各国より多数の選手が出場されました。

特に日本拳法界での、大阪府連盟の役割は、(一財)日本拳法全国連盟傘下の中核団体として、府下73 団体が、日本拳法『八要の紋章』・『理念・指導精神』を胸に、日本拳法の斯道発展のため、地域コミュニティと共に、青少年の健全育成のための輪を広げ、活動を行っています。

近年、本連盟主催大会での競技参加者につきましては盛況の一途であり、直近の全日本拳法総合選手権（国際大会）では、4 年連続して大阪府下の道場より総合王者を輩出しております。また平成30年6月10日に開催されました「第26回 日本拳法 春季大阪府民大会（個人戦）」では、過去最高の400 名超の参加者を得て盛大な開催となりました。これからも斯道発展の目標に向かい精進していくために、仲間と共に経験を積み修練を重ねて参ります。

【平成30年度 大阪府連盟所属団体選手 成績】

第58回 全日本拳法個人選手権大会 優勝 前川 晴人（洪游會本部）
第34回 全日本学生拳法個人選手権大会 優勝 角野 晃平（大阪体育大学）
第63回 全国高等学校日本拳法選手権大会 優勝 富永 一希（関西福祉科学大高）
第24回 全日本拳法高校女子個人選手権大会 優勝 角野 円香（大商大堺高校）
以上の他、第36回 全日本拳法少年個人選手権大会では大阪府代表選手の中学生、小学生が男女6部門で優勝した他、入賞者多数。
第16回 全国都道府県対抗日本拳法大会（団体戦）では、大阪選抜チームとして、成年女子の部が優勝、成年男子の部 準優勝、高校男子の部 準優勝、高校女子の部 第三位と活躍。

【平成31年度 行事予定】

年2回大会（春季個人戦・秋季団体戦）及び、指導者講習会-合同練習など開催 予定
第27回春季日本拳法大阪府民大会（全日本選手権出場選考会 兼ね 開催）
第28回秋季日本拳法大阪府民大会 及び 競技力向上合同稽古会／第5回指導者講習会

◆ 剣道 ◆

剣道 演武

1. 剣道

剣道演武

指揮 六段 藤井 彰

(大阪市立茨田中学校教諭)

演武者 大阪市立修道館練習生(小学生)

小川 嗣雲(6年) 野崎 柊(6年)

田中 純平(6年) 佐藤寿美礼(5年)

松岡 和寿(4年) 藤岡 宗汰(4年)

谷本美智子(3年) 西河 紅奈(3年)

伊藤 凌成(3年) 星加 優介(3年)

2居合道

無双直伝英信流流 太刀打之位

打太刀 教士八段 光行 良一

仕太刀 教士七段 本郷 雅昭

無外流 大太刀打之形

打太刀 教士七段 東 弘一

仕太刀 錬士七段 黒木 教夫

3杖道

神道夢想流杖道(全日本剣道連盟杖道)

打太刀 教士七段 中野 伊織

仕 杖 教士七段 帆谷 増幸

4一心流 鎖鎌術

打 教士七段 近藤 眞佐雄

仕 教士八段 坂上 亨

公益財団法人 大阪府剣道連盟役員

会 長	長榮 周作				
副 会 長	石田 健一	那須 信男	西口 芳治		
専務理事	西口 芳治				
常任理事	石塚 美文	山本 雅彦	下垣 幸広	井口 昭則	森 清文
	西川 潔	戸高 静男	森本 訓史		
理 事	岩堀 透	高嶋 亨	原 恵治	角谷 豊	下田 衛
	川崎 徹	吉田 泰博	計盛 成教	讃岐美津二	井関 大輔
	横須ます子	濱口 雅行	無津呂弘之		
監 事	山本 茂伸	松島 清			
顧 問	園田 政治	小林 三留	島野 大洋	高橋 敬明	鏡山 博行
	島野 泰山	作道 正夫			
相 談 役	太田 友康	松端 孝元			
参 与	小久保昇治	塚本 徹男	有馬 光男	小坂 達明	城戸 高史
	河村 泰治	辻 秀樹	田邊 一司	山畑阿威磨	松田 茂春
	中 寛和	椎葉 隆徳	船津 普治	松尾 剛男	米村 幸生
	小川 庄司	橋本幸太郎	中野 八郎	宮坂 昌之	高田 栄一
	山本 重樹				

事務局
 大阪府剣道連盟事務局
 〒530-0044 大阪市北区東天満2丁目8番1号
 若杉センタービル別館5階502号
 TEL 06-6351-3345 FAX 06-6351-3346
<http://osa-kendo.or.jp/>

● 設 立 昭和 27 年 3 月

● 沿革と現状

剣道の淵源をたどれば古代にまで遡らねばならないが、他の伝統文化である茶道、華道、能楽などと同様その源は中世に求められる。その後、時代の変遷の中で進化発展を遂げるも、明治維新により諸制度の改革の中で剣道(剣術)も衰退を見ることになったが、山岡鉄舟により修養としての剣道が確立された。「剣道」という呼称は、大正15年、学校での体操授業のなかで定着したものである。

戦後は、GHQにより禁止され、スポーツとしての道を探ることとなった。「しない競技」が考案されたのもこの頃で、天下晴れて稽古ができるようになったのは、昭和27年4月サンフランシスコ平和条約が締結されてからのことであり、全日本剣道連盟、大阪府剣道連盟等相次いで連盟が結成された。一方、居合道、杖道においても苦難の道をたどっていたが、幾多の流派の確執を乗り越え、大阪府剣道連盟に加盟したのは居合道部が昭和30年、杖道部は31年のことであり、ここに三道が一つにまとまることとなった。昭和28年には京都で「全日本剣道演武大会」が開かれ、昭和30年には日本体育協会に加盟している。

全剣連において、「全日本剣道連盟居合」、「全日本剣道連盟杖道」として統一した形が定められたのは、居合が昭和44年、杖道は、43年のことであった。

昭和31年に第4回「全日本都道府県対抗剣道大会」が大阪で開かれ爾来今日まで、大阪の地で全国大会が開催されてきている。また、「全日本都道府県対抗少年剣道大会」も平成18年の第1回大会から引き続き開催されており、居合道においては、昭和41年第1回全日本居合道大会が大阪で開かれ、杖道においても昭和61年、平成10年、平成23年と過去3回の全日本杖道大会が開催されている。

現在、剣道においては、年齢、地域、職業、学校、性別にかかわらず、いろいろの分野で発展を続けている。

平成24年度から中学校における武道必修化が実施され、体育の時間に柔道、剣道、相撲などの武道が取り入れられることとなったが「日本のよき伝統に基づく価値観を根づかせたい。」と願う識者の思いが結実したものである。平成24年公益社団法人としてその歩みを始めた大阪府剣道連盟としては、その担い手としての責務の重大性を認識すると共に、その期待を裏切らないよう心してその地歩を築いていきたいものと考えている。



◆ 柔道 ◆

大阪府柔道連盟

初代会長 松岡 萬次郎、副会長 濱野 正平等によって昭和 24 年 (1949) に設立。
 大阪府柔道連盟は、大阪府における柔道界を統括し、代表する団体として柔道の普及及び振興を図り、会員相互の親睦融和を密にすることを目的とする。
 大阪府下に在住・在職及び在学し、全日本柔道連盟に登録している柔道修行者を以て構成している。登録者数は、約 1 万人。

目的及び事業

- 昇段審査
- 試合・大会等の開催ならびに後援
- 講習会・研修会等の開催ならびに後援
- 柔道に関する研究ならびに安全指導
- 柔道に関する機関誌及び刊行物の発行
- その他必要と認められる事業

大阪府柔道連盟役員

会 長	河崎 武夫					
副 会 長	青井 聳	福光 道太	本田 勝士			
理 事 長	大北良太郎					
事務局長	立井 友久					
副理事長	大山 昭三	松本 裕之	岡田 龍司	高澤 雅樹	橋田 隆男	
理 事	青井 一喜	上釜 代三	大谷 忠信	小笠原幸郎	鎌田 幸雄	
	北岡 和明	児玉 篤	斉藤 正俊	玉山 晋治	鷹津 誠	
	中川 寛	橋本 等	長谷川明利	林 広志	八塚 敏	
	山下 義文	山本 秀樹	山村 克彦			
監 事	大野 芳弘 中村 忠司					
最高顧問	西岡 弘					
顧 問	駕田 毅	今口日出太	田中 忠一	徳山 健司	大川 正敏	
	中山 勝美	福重 隆至	福田 善次	松本 秀作	錦 信好	
	大丸 昭典					
相 談 役	青井 亜輝	金森 大蔵	松島 春男	脇藺 昌雄	丸木 英二	
	峰 重幸	梶原 孝信	笹田 岩生	昆田 峯三		
参 与	廣橋 賢次	青木 伊織	木下 理恵	高折 洋		

大阪府柔道連盟事務局
 〒536-0022 大阪市城東区永田 4-15-11
 (財) 講道館大阪国際柔道センター内
 TEL 06-6964-5553 FAX 06-6964-5554
 正午から午後 5 時まで (日・水・祝日休み)

大阪府柔道連盟メールアドレス
 osakahu.judorenmei@silk.ocn.ne.jp

柔道演武 (東大阪大学柏原高等学校柔道部による)

1. 受け身 2. 打ち込み 3. 約束稽古 4. 模擬試合

★柔道の発祥

柔道は、嘉納治五郎師範が 1882(明治 15)年に、東京・下谷の永昌寺の本堂を道場として指導を開始したのが始まりである。嘉納師範は日本古来の柔術を学び、各流派の調書を取り入れ、さらに科学的・合理的な立場から改善を加えて技術理論を体系化し、講道館柔道とした。その後、その教育的価値により、学校の正課科目に採用され、普及・発展していった。

★世界への普及と発展

第二次世界大戦後の海外への普及はめざましく、1951 年に国際柔道連盟(IJF)が発足し、今日では、世界 200 の国と地域が加盟している。世界大会も数多く開催され、オリンピックでは、1964 年の東京大会で男子の正式競技となり、1992 年バルセロナ大会から女子も加わり、世界の JUDO として発展している。

★嘉納治五郎(柔道の創始者)とは

現在の兵庫県神戸市の生まれである嘉納治五郎は、幼い頃、虚弱であったため、体を強くして周囲を見返そうと柔術、主に天神真楊流(後の固め技の基礎)と起倒流(投げ技の基礎)を中心に習った。それらの技術を取捨選択し、独自の創意工夫を加えて、1882(明治 15)年、講道館柔道を創始した。



講道館柔道の根本理念は「精力善用」「自他共栄」という言葉に凝縮されていて、「柔道修行の究極の目的は人間形成にあり」という教育的効用により柔道は急速に世界へと普及していった。嘉納治五郎は柔道発展のために力を注ぎながら、その一方で学習院教頭、東京高等師範学校校長などを務め、教育者としても尽力した。そして、嘉納治五郎は 1909(明治 42)年、日本人初の国際オリンピック委員となり、1911(明治 44)年には現在の日本体育協会を設立し、その会長となった。1912(明治 45)年日本が初めてオリンピックに参加したストックホルム大会には団長として参加した。さらに 1938(昭和 13)年の IOC 会議で東京へのオリンピック招致に成功したが、その帰国途上の船上で肺炎により死去した。

★柔道競技の見どころ

柔道の試合では、選手間で様々な駆け引きが行われている。自分の有利な組み手になり、優位に試合を進めていく上で不可欠な「組み手争い」などはその一例であるが、力の均等な試合者同士になると、組み手争いに終始して、「相手を一本で投げる」という柔道本来の醍醐味がなくなってしまう場面も見受けられる。またかけてくる技を利用して自分の得意技を出すなどメンタル面も含めたこれらの駆け引きが試合展開をスリリングにし、観戦者の心を沸き立たせる。現在、柔道の国際試合は体重別での個人戦が原則だが最近では、日本の試合形式を導入し国別対抗戦などの団体戦も行われるようになり、国対国の試合では観客もヒートアップし、観戦の楽しみのひとつとなっている。

Manners	Independence	Nobility	Dignity
M	I	N	D
礼 節	自 立	高 潔	品 格